

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長 (氏名) 岡田 秀樹 TEL 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,405	6.1	108	△54.8	113	△52.4	86	-
27年3月期第1四半期	4,152	26.3	240	△52.1	238	△52.8	△0	-

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 98百万円 (-%) 27年3月期第1四半期 7百万円 (△98.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	0.62	-
27年3月期第1四半期	△0.00	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	5,687	3,688	62.4	25.30
27年3月期	5,474	3,729	65.6	25.62

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,546百万円 27年3月期 3,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	1.00	1.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,932	6.7	442	△12.5	464	△9.3	343	45.1	2.45
通期	18,107	7.0	935	6.0	975	8.0	732	53.0	5.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	151,451,750株	27年3月期	151,451,750株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	11,243,562株	27年3月期	11,243,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	140,208,233株	27年3月期1Q	140,208,789株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策等により企業業績の向上、雇用情勢の改善の傾向がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、消費税増税による個人消費への影響の長期化、円安による物価上昇もあり先行きはなお不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社は前期に本社機能の強化と業務の一層の効率化を図るとともに、グループ間の連携を深め、収益力のさらなる向上を目的として、大阪市に所在していた本社を当社グループの収益の柱である株式会社アスモフードサービス及び株式会社アスモ介護サービスが拠点を置く東京都新宿区に移転するなど、事業規模の拡大と経営基盤の強化を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高4,405百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益108百万円（前年同四半期比54.8%減）、経常利益113百万円（前年同四半期比52.4%減）となり、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は、86百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失0百万円）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産の賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
そ の 他	(サーバントラスト信託株式会社)	信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、円安の影響で購買価格が急激に上昇し依然として販売価格に転嫁できていないことから減収減益となりました。国外の価格は依然として高値で推移しており円安と合わせると厳しい状態ではありますが、国内において牛肉ブームが到来しており、安価で高品質なメキシコ産牛肉のステーキ商材販売が好調の兆しを見せ始めております。また、国産牛の取り扱いに関しては昨年6月以降より拡大させまして、安定的に販売することにより事業の一つの柱として着実に売上・利益ともに拡大し続けております。通信販売事業に関しても国産牛の取り扱いに合わせた提案を行い、高品質な商品に対する需要の増加に対応すべく様々な提案を行っております。また、量販店向けの加工商品の提案を行っており、安価で高付加価値商品の提案を行うことで現在の需要に見合った提案を行い価格競争に打ち勝つべく取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、724百万円（前年同期比7.1%減）セグメント損失（営業損失）は、12百万円（前年同期はセグメント利益7百万円）となりました。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、高齢者介護施設の給食受託が順調に増加し、安定的な収益確保に寄与しております。また、高齢者介護施設以外の公共施設等の給食受託に向けた取り組みを引き続き行い、長期的な成長に向け新たな基盤の開発・強化に努めてまいります。さらに、当社の知名度アップと活性化を図る取り組みの第一歩といたしまして、著名人の方に協力して頂きイベント開催や、当社ウェブサイトにてイベント等の様子を掲載するなどの広報活動を行い、収入の拡大と利益の確保に繋がるよう努めてまいります。

また、ますます高齢化が進む中、介護食（ソフト食・ゼリー食等）に対する需要も高まっているため、従業員に介護食に対する知識を深めるための研修・講習会の実施を強化することにより、一層の技術向上に努め、嚥下困難な方でもお食事を楽しんで召し上がって頂けることを大切にに取り組んでおります。

今後もおお客様の立場にたった提供を心がけ、常に安全・安心でおいしい、お客様のニーズにあった食事提供を心掛けるとともに、日々の健康管理にも貢献すべく取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,809百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は、86百万円（前年同期は1百万円）となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅支援事業所および有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第1四半期においては、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇、介護保険法改正による介護報酬の見直しの影響により、介護業界は足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、ご利用いただける機会を増やすことを目的に積極的に事務所の開設を進めてまいりましたことにより、当第1四半期連結期間末現在、訪問介護事業所37事業所（前年同四半期末時点は、32事業所）、居宅支援事業所12事業所（前年同四半期末時点は、11事業所）となり、支援させていただいておりますが契約者様は1,642名（前年同四半期末時点は、1,522名）となりました。

さらに、介護人材育成を最重要課題の一つと認識し注力実践していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,136百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、73百万円（前年同期比61.6%減）となりました。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING (HK) 事業におきましては、昨年より株価の乱高下など不安定化している中国経済の動向を受けて、香港経済が以前の堅調さを失いつつあり、これが当社のレストラン事業を中心に影響を与えております。

このような状況下においてもレストラン事業の将来を見据えた新規出店は必要との考えに基づき、平成27年5月度には「匠工房 秀吉」の5号店となる店舗をモンコック地区のショッピングセンター「ランカムプレイス」のフードコートの一画にオープンいたしました。同フロアには、モスバーガー、COCO壱番屋、元気寿司、一風堂、ペッパーランチなどの有名ブランドが店舗を構えており、厳しい競争が予想されますが、香港有数である同施設の集客力を活かし、運営してまいります。

また、日系同業他社を主なターゲットとしたセントラルキッチン、倉庫、物流の提供サービス事業においては、昨年3月の工場の本格稼働以来、ようやく安定した売上があげつつあります。こちらは今後売上が伸ばすことに注力し、収益基盤の柱となるよう取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、553百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、2百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおり、「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」「老い支度サポート信託」「葬儀費用安心お預かりサービス信託」などの個人向けの信託商品のほか、「葬儀費用管理信託」「顧客分別金管理信託」「不動産証券化信託」「エスクロー信託」などの法人向けの信託商品の販売に努めました。従前からの継続的な営業活動によって成果は着実に積み上がって来ている状況にあり、近い将来、利益体質の会社へと転換できるとの手応えを感じております。引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を営んでおり、「生命定期保険」「入院保障付生命定期保険」「無選択型生命定期保険」3種類の生命保険商品の引受・販売を行っており、業績は順調に推移しております。当期は、単身でペットを飼っている人向けに「ペットのお守り」を新プランとして投入し、ペット用品の通販会社や老人ホーム、ペット可賃貸物件を取り扱っている大手不動産会社等とタイアップすることにより、案内を開始いたしました。このように当社は既存の保険プロ代理店チャネルに加え、顧客を持つ他業種の事業会社と連携することにより、新たなチャネルを開拓しております。また、当期は業界初の有料老人ホーム専用商品である「高齢者施設入居者家財保険」の販売準備を進めており、第2四半期には有料老人ホームを代理店化し、その入居者に当商品を販売することにより、保険料収入の増加に向け、積極的に推進してまいります。

c. ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITEDは、昨年4月に台湾市内にオープンした「今助」が好調に推移しており、全社損益における黒字を確保しております。こちらの「今助」を一つの成功事例として、「今助」2号店のみならず「北の坂」「秀吉」「秋桜屋」などの新規出店を目指しております。新規出店の可否については安定した高収益体質を築くため慎重な判断を行いつつ、好条件の店舗物件の獲得に向けて精力的に活動しております。

今後も既存店舗の運営に注力するとともに、新規出店に必要となる優良物件の確保に取り組むことで、売上拡大と収益確保を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、181百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント損失(営業損失)は2百万円（前年同期は13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加76百万円、長期貸付金の増加などによる投資その他の資産その他の増加100百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円増加いたしました。これは主に未払金が80百万円、未払法人税等が40百万円、賞与引当金が62百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少53百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.4%（前連結会計年度末は65.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58—2項（4）、連結会計基準第44—5項（4）及び事業分離等会計基準第57—4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,941,074	1,909,674
受取手形及び売掛金	1,754,343	1,831,170
商品	298,387	339,233
貯蔵品	13,707	13,753
その他	463,853	503,714
貸倒引当金	△1,794	△2,083
流動資産合計	4,469,571	4,595,464
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	352,491	344,795
有形固定資産合計	352,491	344,795
無形固定資産		
のれん	74,486	69,520
その他	2,836	2,552
無形固定資産合計	77,323	72,073
投資その他の資産		
その他	890,194	990,884
貸倒引当金	△314,684	△315,322
投資その他の資産合計	575,509	675,561
固定資産合計	1,005,324	1,092,431
資産合計	5,474,895	5,687,895

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	487,368	514,212
未払金	561,011	641,635
未払法人税等	—	40,551
賞与引当金	161,224	224,162
その他	435,690	468,446
流動負債合計	1,645,294	1,889,007
固定負債		
退職給付に係る負債	90,346	93,342
訴訟損失引当金	—	8,479
その他	9,390	8,638
固定負債合計	99,736	110,460
負債合計	1,745,031	1,999,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	1,147,907	1,094,237
自己株式	△42,382	△42,408
株主資本合計	3,428,797	3,375,101
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△269	△230
為替換算調整勘定	156,694	166,395
退職給付に係る調整累計額	7,285	5,464
その他の包括利益累計額合計	163,710	171,628
非支配株主持分	137,356	141,696
純資産合計	3,729,864	3,688,427
負債純資産合計	5,474,895	5,687,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,152,045	4,405,770
売上原価	3,101,766	3,432,327
売上総利益	1,050,278	973,442
返品調整引当金戻入額	6,792	—
差引売上総利益	1,057,071	973,442
販売費及び一般管理費	816,847	864,829
営業利益	240,223	108,613
営業外収益		
受取利息	12	865
為替差益	—	2,889
貸倒引当金戻入額	1,800	—
助成金収入	1,050	1,925
その他	805	737
営業外収益合計	3,668	6,417
営業外費用		
支払利息	95	44
為替差損	1,884	—
貸倒引当金繰入額	—	637
その他	3,403	737
営業外費用合計	5,383	1,419
経常利益	238,508	113,610
特別損失		
減損損失	158,339	—
固定資産除却損	—	2,807
訴訟損失引当金繰入額	—	8,479
その他	—	594
特別損失合計	158,339	11,881
税金等調整前四半期純利益	80,169	101,728
法人税、住民税及び事業税	31,406	15,196
法人税等調整額	50,428	△1,689
法人税等合計	81,834	13,506
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,665	88,222
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,358	1,683
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△307	86,538

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,665	88,222
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△322	38
為替換算調整勘定	△7,296	12,357
退職給付に係る調整額	17,211	△1,821
その他の包括利益合計	9,591	10,574
四半期包括利益	7,925	98,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,852	94,457
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,927	4,340

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業 (注2)	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,857	779,734	1,728,645	1,002,505	471,284	3,985,027	167,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,242	8,546	5,665	-	-	149,454	-
計	138,100	788,280	1,734,310	1,002,505	471,284	4,134,481	167,018
セグメント利益又は損 失(△)	42,979	7,953	1,665	191,788	2,533	246,921	△13,298

(単位:千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	4,152,045	-	4,152,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,454	△149,454	-
計	4,301,499	△149,454	4,152,045
セグメント利益又は損 失(△)	233,623	6,600	240,223

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

(注2) ASMO CATERING (HK) 事業は平成26年7月にOX(H.K.)COMPANY LIMITEDをASMO CATERING (HK) CO., LIMITEDに社名変更したことに伴い、OX(H.K.) 事業より名称を変更しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,921
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△13,298
セグメント間取引消去	6,600
四半期連結損益計算書の営業利益	240,223

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	158,339	-	-	-	-	-	-	158,339

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサー ビス事 業	アスモ介 護サー ビス事 業	ASMO CATERING (HK)事 業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	1,275	724,309	1,809,144	1,136,583	553,444	4,224,758	181,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,092	17,934	—	—	28,027	—
計	1,275	734,402	1,827,079	1,136,583	553,444	4,252,785	181,012
セグメント利益又は損 失(△)	△37,622	△12,979	86,090	73,677	2,552	111,718	△2,672

(単位:千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	4,405,770	—	4,405,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,027	△28,027	—
計	4,433,798	△28,027	4,405,770
セグメント利益又は損 失(△)	109,045	△432	108,613

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,718
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△2,672
セグメント間取引消去	△432
四半期連結損益計算書の営業利益	108,613

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。